

ねりま大根 発祥の地

綱吉と金兵衛



練馬の歴史より



ねりま大根献上絵図



五代将軍徳川綱吉・御殿跡碑

五代将軍、徳川綱吉が鷹狩のときの宿泊や休憩所として現在の錦2丁目付近に御殿を建てたことから、江戸開府400年を契機に平成15年に建てられた御殿跡の碑です。



金兵衛さんの墓

ねりま大根の発祥となった金兵衛家の墓地も、阿弥陀堂内にあります。【非公開】

綱吉は兄の四代将軍家綱からこの辺りを鷹場として拝領し、鷹狩の際は下練馬村に訪れていました。

『徳川綱吉にかかわり、練馬といえば全国的に知名度が高い「練馬大根」の発祥の伝説があります』

綱吉が将軍になる前、脚気を罹い、方角や『馬』のつく土地が病を治すには良いと占い師から言われたことから、練馬に「御殿」を建て養生をしたと言われ、脚気に聞くと言われた大根の種を尾張から取り寄せ、

土地の百姓金兵衛に作らせました。

素晴らしい大根が出来、味もすこぶる良かったそうです。綱吉の病気が治って、江戸城に戻り、後に将軍となっても、練馬の大根を献上させ、諸大名にもふるまった。やがて下練馬村は日本一の大根村として名声を博するようになりました。

金兵衛は下練馬村の実在の人物です。ここ下練馬（北町）は練馬大根の発祥と深くかかわっている土地柄です。